

令和3（2021）年度

地域学校協働活動推進員養成研修① 実施報告

実施日：令和3年6月10日（木）

本研修は、「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」事業の一環として行われます。学校を支える地域の仕組みづくりを促進していく人材の育成を目的として、10月までの全5回の内容で行われます。その第1回が、6月10日(木)に開催されました。



説明・協議「地域学校協働活動推進員の役割」

栃木県教育委員会事務局生涯学習課 副主幹 和久 真

学校と地域が連携・協働する必要性や、地域学校協働活動推進員の役割について説明がありました。受講者は、学校と地域が目的や目標を共有していくことの重要性を再確認しました。そして、地域学校協働活動を推進していくためには、地域学校協働活動推進員がどう関わるべきか、その役割について理解しました。

講話「これからの学校と地域の連携・協働」

国立教育政策研究所 総括研究官 志々田 まなみ 氏

地域学校協働活動の基本的な内容を押さえた上で、学校と地域の協働のあるべき姿についてお話いただきました。話の中には、事例など受講者が活動する際のヒントにつながる話題提供もありました。そしてまとめとして、コーディネーターの存在の重要性や、地域学校協働活動はスクラップ&ビルドが基本となること、この活動がなぜ必要なのか、子どもの何に役立つのかを説明することの大切さなど、学校と地域の連携・協働に向けて、押さえるべきポイントをお話くださいました。受講者同士が意見を交換する場面を数回入れながら進めていただいたことで、今後の活動への意欲喚起にもつながり、充実した学びとなりました。



新型コロナウイルス感染防止のため、受講者同士の距離を確保して実施しましたが、講師、受講者の皆様の御協力のもと、第1回を無事に終了することができました。

今後も、状況に応じた対応をとってまいります。引き続き、御協力をお願いいたします。

【受講者の感想から】

- 地域学校協働活動推進員そのものの役割が理解できました。
- 地域と学校の連携に関わる背景には、様々な法令の改正なども関係していると知りました。改めて、自分の立場が地域の教育力に大きく貢献しているし、さらに改善や努力も必要だと感じました。
- 地域と学校が連携する必要性について、詳しく学べてよかったです。島根県益田市のように、すでに協働で成功されている地域について学ぶことができました。
- コロナ禍でどのような活動ができているのか、情報共有ができました。地域コーディネーターとしての役割やこれから取り組んでいく方向性が分かってきました。今までの活動について自信をもつことができました。
- 地域（学校区）にこだわらずに横のつながりがつくれたらいいと思いました。
- 特別な活動をしないといけないのか少し不安がありましたが、今まで活動したことと一緒にということで安心しました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp